

研究課題名	アジアの集中治療における肺保護換気に関する疫学研究
研究責任者名	浜松医科大学附属病院集中治療部 特任准教授 土井 松幸
研究期間	2019年 12月(倫理委員会承認後) ~ 2020年 12月
対象者	倫理委員会承認日から2019年12月31日の間に、浜松医科大学附属病院ICUで侵襲的人工呼吸受けられる患者さんのうち、圧調整換気または容量調節換気を受ける患者さん。
意義・目的	<p>肺保護換気と呼ばれる人工呼吸法で、急性呼吸促迫症候群(Acute Respiratory Distress Syndrome: ARDS)の患者の死亡率が低下することが示されています。またその利点から、肺保護換気はARDS以外の病態に用いることへの関心が広がっています。一方で、肺保護換気が実施されている割合は考えられているよりも低い可能性があることが、示されています。</p> <p>今回、アジア諸国の集中治療領域において、人工呼吸を受ける患者での肺保護換気の実施率を明らかにするため、この研究を計画しました。</p>
方法	<p>本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。</p> <p>カルテから使用する内容は入院中の部門・科、年齢、身長、体重、性別、意識状態、血圧、尿量、血液検査(クレアチニン、総ビリルビン、血小板数、血液ガス分析)、人工呼吸を開始した理由、人工呼吸のモードと設定、各種薬剤の使用状況(血管収縮薬、ステロイド、筋弛緩薬、鎮痛薬、鎮静薬、抗精神病薬、気管支拡張薬)、体位、患者さんの生存状況です。</p> <p>(個人を特定可能な情報は解析に用いません)</p>
共同研究機関	ソウルアサン病院クリニックをはじめとしたアジア諸国の11カ国187病院210ICU。ソウルアサン病院に情報を集めソウルアサン病院(研究責任者 Youn-Suck Koh)が解析します。
試料・情報の管理責任者	ソウルアサン病院 Youn-Suck Koh
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒431-3125 静岡県浜松市東区半田山1丁目20-1</p> <p>Tel: 053-435-2111</p> <p>浜松医科大学附属病院集中治療部 特任准教授 土井 松幸</p> <p>診療助教 青木 善孝</p> <p>診療助教 伊藤 雅人</p>

研究機関：浜松医科大学